

バチルス・サブチリス由来のアセチルコエンザイムA合成酵素、組換え型

Cat. No. NATE-0797

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 アセチル-CoA合成酵素(ACS)またはアセテート-CoAリガーゼは、アセテートの代謝に関与

する酵素 (EC 6.2.1.1) です。これはリガーゼクラスの酵素であり、2つの大きな分子の間に

新しい化学結合を形成する反□を触媒します。

別名 アセチル-CoA合成酵素; アセチル活性化酵素; アセテートチオキナーゼ; アシル活性化酵素; ア

セチルコエンザイムA合成酵素; アセチルチオキナーゼ; アセチルCoAリガーゼ; アセチルCoA 合成酵素; アセチルコエンザイムA合成酵素; 短鎖脂肪酸アシル-CoA合成酵素; 短鎖アシルコエ

ンザイムA合成酵素; ACS; EC 6.2.1.1; 9012-31-1

製品情報

由来 バチルス・サブチリス

形態 液体

EC番号 EC 6.2.1.1

CAS登□番号 9012-31-1

分子量 ~ 66kD

活性 ~ 25 U/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、酢酸、ATP、およびコエンザイムAから、NAD+の存在下でTEAバッファーの

pH 8.4および25°Cで、1分あたり 1μ moleのアセチルコエンザイムAを生成するのに必要な酵

素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C